

学校で習うすべての教科と学校での教科外のすべての活動は上級学級に進学してから
すべて役に立つ、社会に出てからもすべて役に立つ、一生役に立つ
—学校でのすべての教科の学習、教科外の活動はしっかりと行おう—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：林さんは、なぜこのようなテーマを私たちに伝えたいのですか。

A：(林明夫：以下省略)

- (1) 今から 10 年ぐらい前から、経済団体の一つである経済同友会(東京)や群馬経済同友会の一会員として、中学校や高校からの依頼で 1 か月に何回か出張授業に出掛け、「何のために働くのか」「働くことの意義」「今、社会で求められる能力、人材とは何か」「学校時代にしておくべきことは何か」など各学校から与えられたテーマに沿ってお話をさせていただいております。(また、栃木県経済同友会の一会員として、短期大学や大学、大学院などでも講義をさせていただいております。)
- (2) 出張授業が終了すると、私の話を聞いて参考になったことや考えたことを中心に生徒の皆様全員の感想文が学校から送られてきます。感想文の中で、多くの生徒の皆様が参考になったと書いてくださるのは、「今学校で学習しているすべての科目と学校での教科外のすべての活動は、上級学校に進学後に役に立つ、また、学校を卒業後に仕事や社会的な活動をするときにも役に立つ、一生役に立つものばかりだ。だから、今学校で学習しているすべての教科をしっかりと学習してほしい。学校での教科外のすべての活動にもしっかりと取り組んでほしい」という私の話です。
- (3) 「学校の勉強が役に立つとは思わなかった。学校でのいろいろな行事や活動が役に立つとは思わなかった。役に立つ内容を勉強しているなどとは思っていなかった」などの感想を書いてくださる方が数多くいらっしゃいます。
- (4) そこで、2013 年度の新学年が始まるにあたり、学校でのすべての教科、学校での教科外のすべての活動は進学してから役に立つ、仕事や社会生活でも役に立つ、一生役に立つということを皆様にお伝えし、学校では役に立つ学習や活動をしているのだということを十分知った上で、新しい学年を迎えていただきたいと希望します。

Q：それは本当ですか。学校で学習する各教科は本当に役に立つのですか。教科外の活動も役に立つのですか。

A：本当です。

- (1) 例えば、現代は知識を基盤とした社会(知識基盤社会)ですので、「知識・情報・技術を用いる能力」がすべての仕事や社会的な活動に欠かせません。特に、少し難しい仕事をするときにはワードやエクセルの知識や技術を身に付けていることが求められます。エクセルなどを使いこなす

には、中学校だけでなく、高校の数学、特に「統計・確率」を知っているととても便利です。つまり、高校の数学はコンピュータに役に立つといえます。

(2) また、現代は人やもの、サービス、お金が国境を越えて激しく移る「グローバル化社会」ですので、世界の共通語である「英語」によるコミュニケーション能力(読み、聞き、書き、話すの4技能)はとても役に立ちます。

(3) 私は、不足する勉強を補うために国際会議などに参加しています。そこで、外国に行くことが多いのですが、例えば、昨年ドイツのフランクフルトに行きドイツの人たちのグループの中に入ったときには、私がドイツ語を話せないとわかった瞬間にそのグループの会話はすべて英語になりました。

(4) また、以前、パリに本部のある OECD のフォーラム(会議)に参加しフランスの人たちのグループに入ったときも同じで、私がフランス語がよくできないとわかった瞬間にそのグループの会話は英語になりました。スペインに行ったときも中国の北京や上海に行ったときも同じでした。ベトナムやタイ、マレーシア、インドネシアでも同じです。英語は本当に役に立ちます。

(5) ただし、これからは英語以外の言語も 1 つか 2 つ身に付けると、世界がもっともっと広がります。NHK ラジオの語学講座はとてもよくつくられていますので、4 月から英語以外の外国語を NHK ラジオの講座で学習することをお勧めします。私は、スペイン語とフランス語にもう一度チャレンジします。

Q：一番役に立つ科目は何ですか。

A：(1) 保健体育の「保健」の教科書には、健康な状態で人生を生き抜くエキスがぎっしりと詰め込まれていますので、健康に生きる上で一番役に立つと考えます。

(2) 音楽や美術、技術・家庭も人間らしい豊かな人生を送る上でとても役に立ちます。

(3) 地理や歴史、公民の「社会」、現代に不可欠な生物・物理・化学・地学の「理科」、すべての教科や活動・生活の基本となる「国語」は、上の学校でも社会に出ても欠かせません。

Q：学校での教科外の活動が役に立つとはどういうことですか。

A：(1) 仕事や社会的な活動は、自分一人で行うことはまずありません。たとえものは一人でつくっていても、それをお客様に売らなければ生活は成り立ちません。ですから、自分以外の他人と一緒にものごとをやっていく、できればうまくやっていく能力が、社会に出ると求められます。学級会と部活動はみんなでものごとに取り組むよい訓練となります。

(2) 始業式・終業式や入学式・卒業式、修学旅行や社会体験などは集団行動のよい練習となり、社会に出ても役に立ちます。

(3) スポーツにはルールがあります。ルールの中でプレイすることは、社会でも求められます。自動車を運転するときに交通法規を守らない人がいると、事故の原因になります。一方通行の表示を守らないで逆走すると、本人はもちろん、法規通りに運転する車に乗った人を事故に巻き込むことにもなります。

(4) 最も役に立つのは、「トイレ掃除当番」です。家や職場、地域のトイレをきれいに磨き上げることは衛生によいだけでなく、人々にさわやかさを与えます。

Q：最後に一言どうぞ。

A：（１）今やっている学校での学習や学校での活動は世の中に出てからすべて役に立つと考え、真正面から真剣に取り組んでくださいね。

（２）仕事には教科書がありません。仕事に必要なことをひたすらメモし続け、そのメモを繰り返し読み直してはじめて、仕事は身に付きます。お客様や上司、部下、同僚と約束した内容を正確にメモし、その通りに行うことで約束が果たせ、信頼が得られます。学校の授業中にノートを取り、ノートを復習してまとめ直すことは、社会に出てからメモを取り、仕事を進める予行練習といえます。

（３）社会に出てからも数多くのテストを受けなければなりません。学校の定期テストの学習は、その予行練習ともいえます。

（４）お伝えしたいことはまだまだ山ほどありますが、学校のすべての科目とすべての活動は上の学校や社会に出てから役に立ち、一生役に立つと考えて、しっかりと取り組んでくださいね。

（５）最後に一言。学校の教科書は上の学校に進学したあとも、また、社会に出てからもすべて役に立ちますので、絶対に捨てずに、一定の場所に保存しておくようにお願いします。就職試験にも役に立ちます。

— 2013 年 3 月 7 日記 —